

# 価値ある技術を創造し、明日を拓く。 時代の変化に挑み、 人と技術の進化を目指す。



代表取締役社長

早坂 幸起

当社はフライス盤を主とした機械加工工場を個人事業として創業し、昭和48年に業務拡大に伴い株式会社悦機として会社設立。その後オフセット印刷機械用給紙装置、小型工作機械（汎用フライス盤）を生産委託で製造開始、後に自社製品として販売開始するなど設計・調達から製造・販売まで一貫体制で行うなど「技術力」と「人間力」を高め、可能性にチャレンジした「ものづくり」を追求しております。平成22年には、当社製2MF-Vが技能五輪全国大会フライス盤競技の公式競技の公式機械として採用され、神奈川県大会から継続使用されています。

会社概要

所在地	山形県村山市
創業	昭和42年9月1日
業種	生産用機械器具製造業
従業員数	114人(平成26年6月末日現在)
資本金	8,640万円

## 定年及び定年後の継続雇用制度

定年：60歳

現在の最高年齢者：64歳

定年後の継続雇用制度：

65歳まで希望者全員を再雇用する制度。

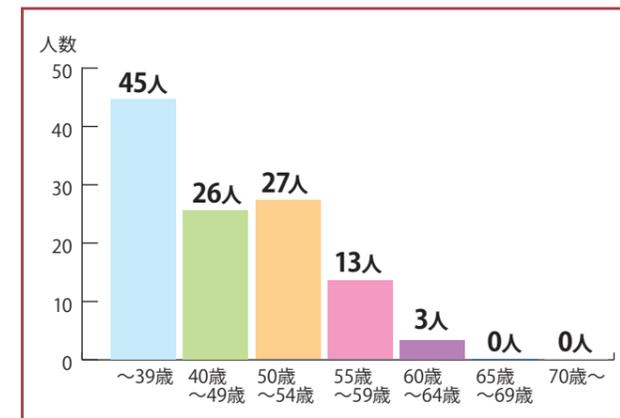
### 具体的内容

65歳まで希望者全員を再雇用する制度。  
(労使協定第3条の基準を適用)

## 年齢別従業員数 (正規従業員以外も含む全従業員)

正規従業員：109人

正規従業員以外の従業員：5人



## 従業員雇用に対する方針及び考え方

「ものづくり」は「ひとづくり」、「企業は人なり」の理念の基に人材育成に力を注ぐ。社員持株制度も導入。

## 目標とする雇用制度

定年後70歳まで継続して雇用する制度。

## 制度導入に向けての行動計画

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
制度導入のメリット・リスクの整理					▶						
従業員の意識調査(社内ニーズの調査アンケート)						▶					
問題点や課題の洗い出しと解決策の検討							▶				
有効な労務管理、人事・処遇制度の検討								▶			
制度導入の就業規則変更(労使協定締結、労基署への届出)											▶

## 解決すべき課題

- 再雇用契約トラブルの解消**  
再雇用の継続雇用にあたって会社と再雇用希望者との意見の食い違いによるトラブルが想定されるので、労使が納得できる判定基準について取り決める対策。
- 被災リスクの軽減**  
加齢に伴う体力や視力、判断力等の低下による品質や生産効率の低下が想定されるのでこれら被災リスクを軽減する対策。
- 技能・技術の伝承及び後進の育成**  
我が社に期待される技能・技術は年々高度化しており、我が社の強みである「技術力」と「人間力」を高めるため、ベテラン社員から若手社員への技能・技術の伝承及び育成を図る対策。
- モチベーションの向上**  
再雇用者が戦力となり企業に貢献するためには、再雇用者の仕事に対するモチベーションが不可欠となり、そのための対策。

## 課題に対する達成状況 ※平成26年11月末現在

- 再雇用の判定基準づくり**  
継続再雇用を希望する従業員を全員再雇用する方針のもとに、仕事の内容に応じた責務と処遇等を含めた判定基準について検討する予定。
- 被災リスクの軽減**  
高齢者に対する健康管理・安全等の対策管理、確認体制の強化対策を検討する。具体的には健康管理についての相談窓口の設置、及びヒヤリ・ハット事例等検討会(仮称)を設置する予定。
- 技能・技術の伝承及び後進の育成**  
メンター制度や専門職制度の整備などの検討を行い、技能・技術の伝承及び後進の育成について高齢者の果たす役割を検討する予定。
- モチベーションの向上**  
個々人の能力や頑張りを重視した面談制度などを行うほか、継続雇用賃金について根拠と納得性のある制度を整備するための検討を行う予定。また、社内コミュニケーションの向上策についても検討する予定。